

長崎県気候変動適応センターの取り組み (関係機関との連携)

長崎県環境保健研究センター
(長崎県気候変動適応センター)

企画・環境科 船越 章裕

2024年12月18日

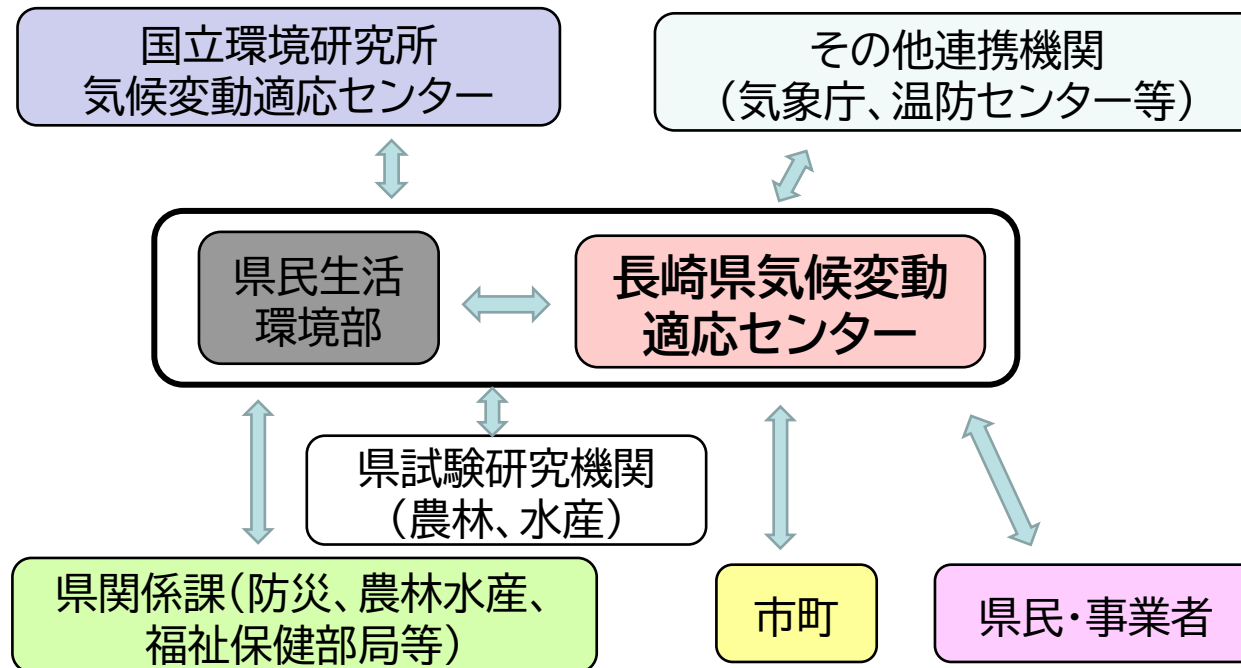
地域気候変動適応センターの体制

長崎県気候変動適応センターは、気候変動適応法第13条に基づき、地域における気候変動適応推進のため、令和3年10月1日、長崎県環境保健研究センター内に設置

機能

日常生活や事業活動に、大きな影響を及ぼす防災、農林水産、健康分野等に係る情報を収集、整理、分析し、県民にわかりやすく情報発信を行う

関係機関との連携・共同研究により、地域における将来予測、本県施策への提案、助言などを行う拠点となる

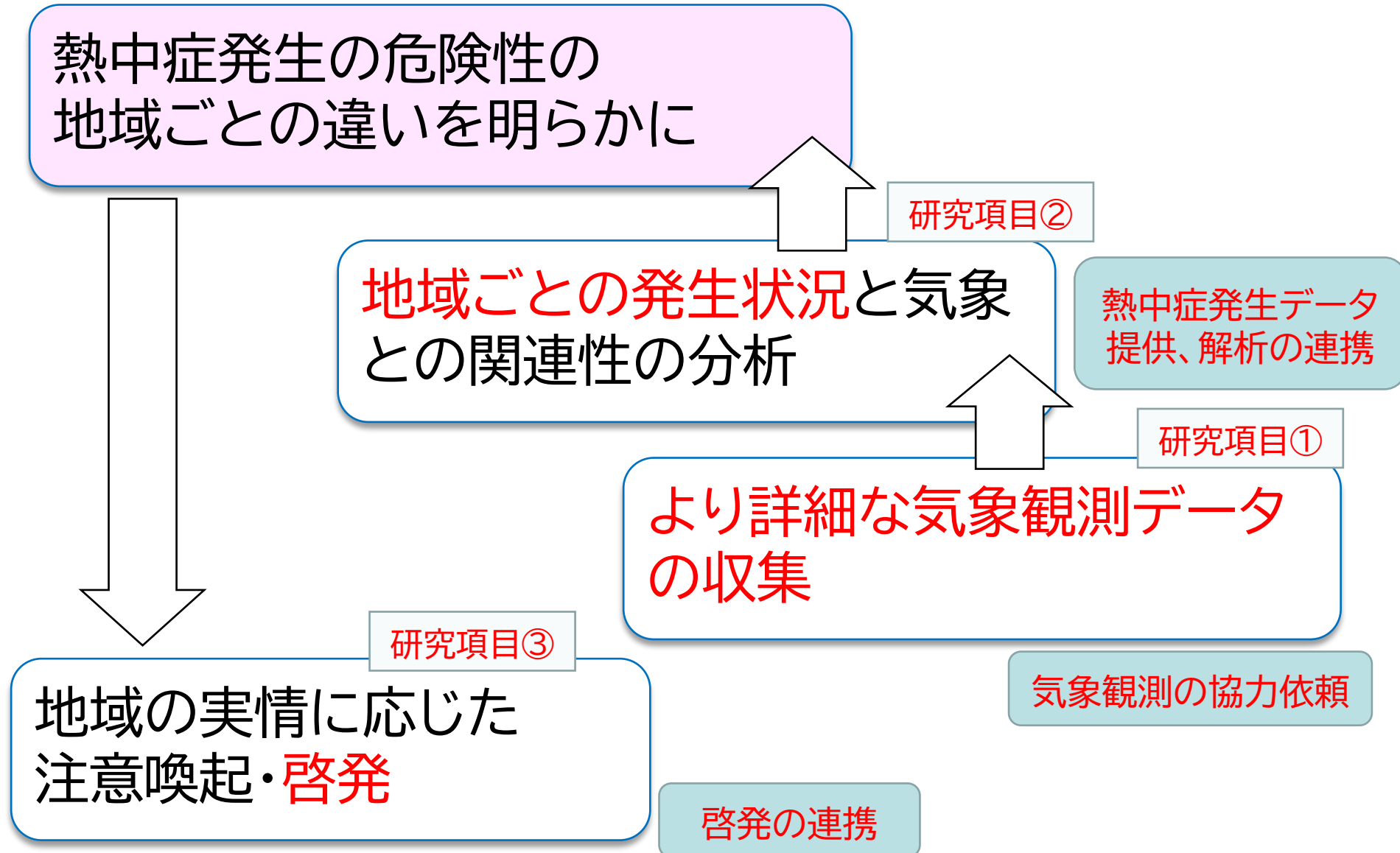


地域気候変動センター体制イメージ図

- ◆ 熱中症発生の地域特性に関する研究
- ◆ 国民参加による気候変動情報収集・分析委託事業
- ◆ 気候変動適応セミナー

熱中症発生地域特性と気象との 関連性に関する研究(R2-4)での連携

研究の概要と研究項目



県内の暑さ指数(WBGT)公表地点(気象庁)

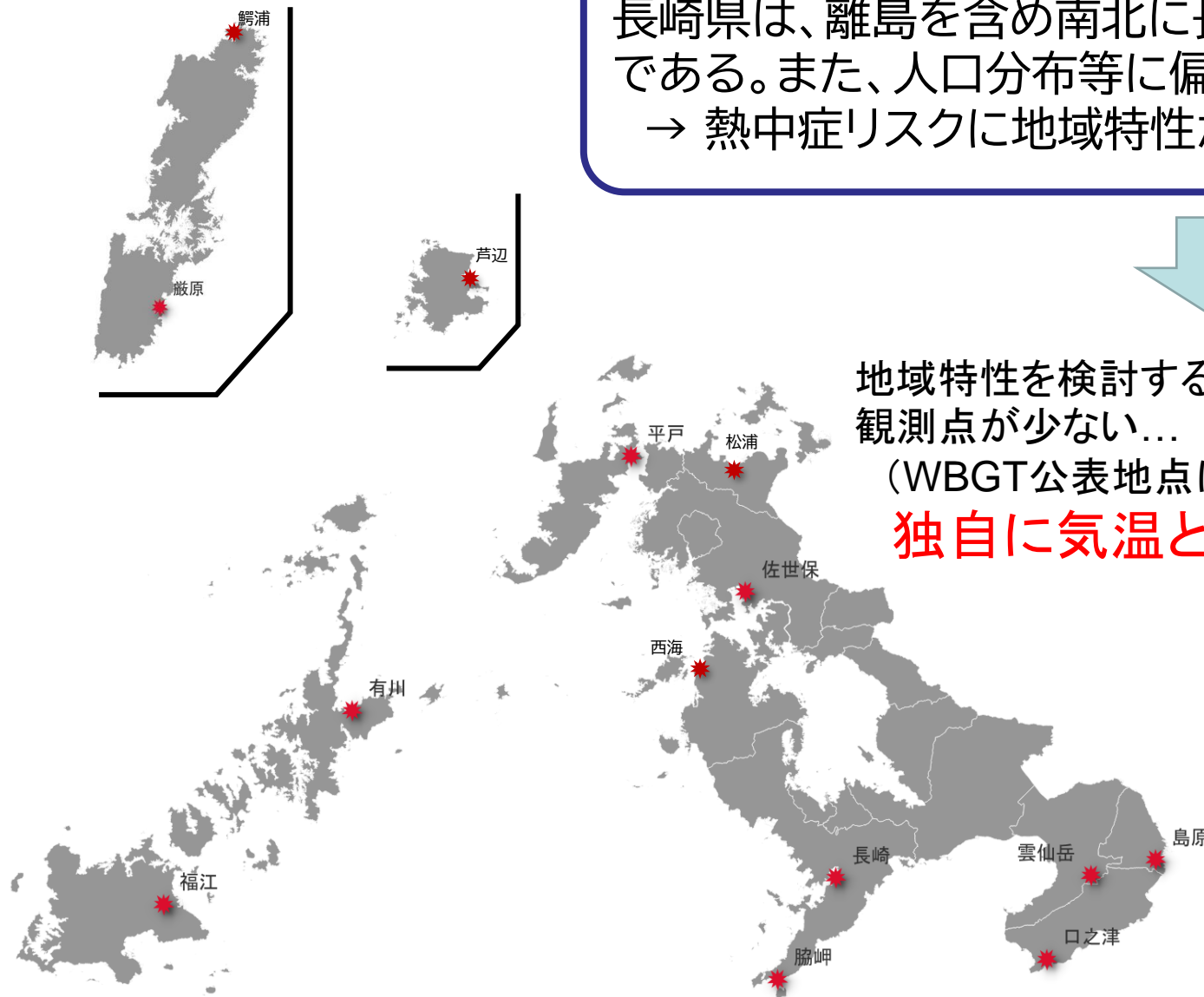
長崎県は、離島を含め南北に長く地形が複雑である。また、人口分布等に偏りがある。
→ 熱中症リスクに地域特性がある可能性



地域特性を検討するには、県内の気象庁の観測点が少ない...

(WBGT公表地点は県内14地点)

独自に気温と湿度を観測！



気象データの観測に関する協力依頼

【気象観測の課題と対応策】

○気温及び湿度の観測のため、一定の観測条件を揃える必要がある。

○設置場所は県内に広く分布する必要がある。

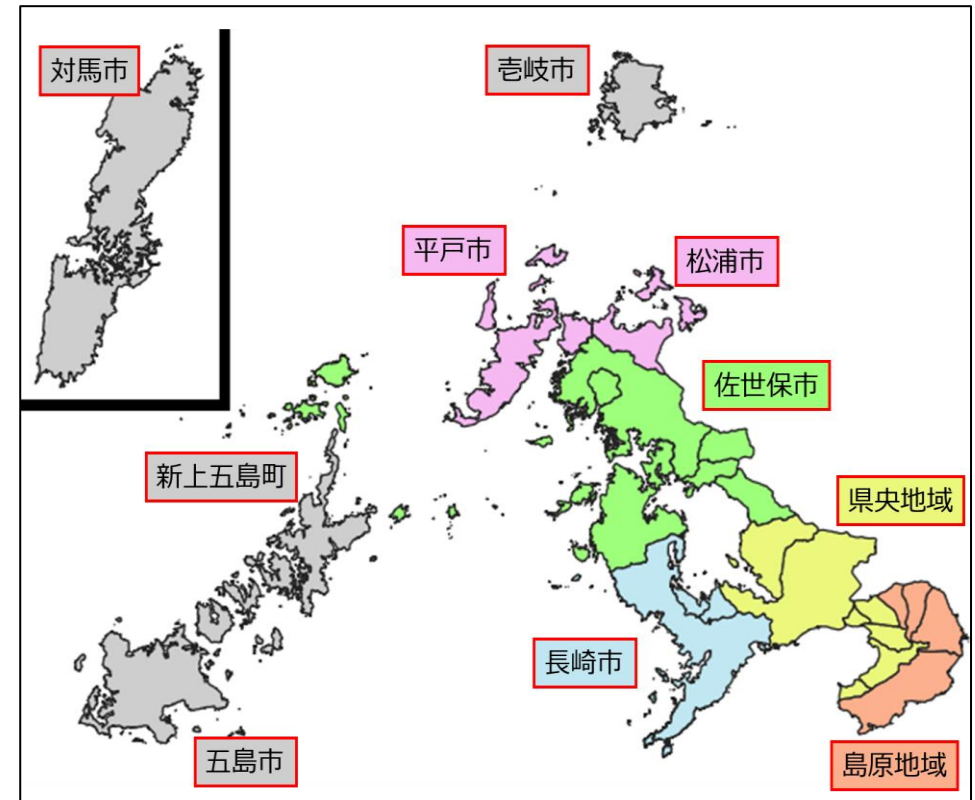
→ **小学校に設置されている百葉箱を利用**



教育委員会、小学校へ協力依頼し、県内40地点でデータ収集

熱中症救急搬送者数のデータ収集・解析に関する連携

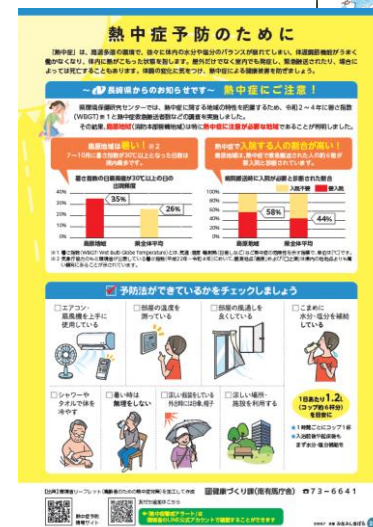
- 県内の10消防局(本部)に照会のうえ、熱中症救急搬送者に関する情報を入手
※R2～R4年度のデータ:2406件
- データ解析結果は、国立環境研究所 気候変動適応センターへも確認



データ収集は、消防局(本部)へ協力依頼
データ解析結果は、国立環境研究所へも確認

熱中症予防のための啓発に関する連携(地域)

- ◆ 市広報誌へ啓発記事の掲載
広報誌7月号に研究成果に基づく啓発記事を掲載
- ◆ 一般住民を対象とした講演
島原市、南島原市において一般住民
を対象とした講演を実施



めんを食べよう! 掲載(10)
らめんを食べたくなる季節がやってきた (9-7)
MINAオンラインキャンペーン (11)
か? マイナンバーカード (12-13)
【2016年7月号】

市の広報誌
7月号

島原市 : 6月に実施
南島原市: 6月、9月に実施

写真は、あかね会(一人暮らし高齢者
食事会: 島原市)における講演の状況



島原市・南島原市の熱中症担当部局と連携し、啓発

熱中症予防のための啓発に関する連携(県全体)

◆県内7地域ごとに啓発資料を作成・HP上で公開

◆関係部局と連携し啓発資料の効果的活用

特に福祉保健部局

→福祉保健課によるメディアの活用

・ラジオ:Saturday chat box(7月)

・テレビ:みじかなナガサキ ミニ(7月)

→市町保健部局への周知・活用

→保健所への周知・活用

◆県教育センターと連携した教員対象の研修



関係機関と連携し効率的な啓発

県庁関係部局との連携(R4研究終了後)

◆熱中症予防事業庁内連絡会議(R5.11～)

福祉保健部で所管(とりまとめ)

(地域保健推進課、防災企画課、消防保安室、地域環境課、気候変動適応センター)

◆気候変動適応センターの役割

「熱中症に関するデータ分析・提供」



R7以降の熱中症予防に関する追加(詳細)調査について検討中

県教育センターとの研究終了後の連携(R4研究終了後)

- ◆熱中症の地域特性の研究結果の啓発をきっかけにR5から連携スタートし、R6以降も継続(講座を実施)



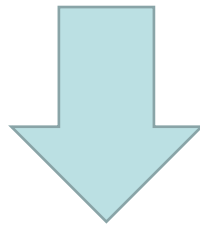
国民参加による気候変動情報収集・ 分析委託事業での連携

- ◆ 熱中症予防・暑熱対策に向けた情報収集
- ◆ 農協・漁協との連携による情報収集
- ◆ 県民向けアンケート




熱中症予防・暑熱対策に向けた情報収集の協力依頼

◆熱中症予防・暑熱対策 に向けた情報収集

5つの小学校で暑さ指数
(WBGT)の室内環境調査



小学校へ協力依頼し調査

設置場所	設置の状況
職員室 (常時空調)	
教室 (子どもたちが体感)	
体育館 (空調なし)	

◆農林部、水産部の担当課と打合せ

◆アンケート調査、回収

(農協7団体中5団体の回答、
漁協64団体中35団体の回答)

◆ヒアリング(農林部局も同席)

<びわ:ヒアリングから得られた情報>

【凍霜害の詳細について】

・時期と状況

開花時期が11月頃、その後受粉し1月頃には小指大の実がなる。1月から2月において-4℃以下で2時間以上継続すると種が凍死する。

・原因

気象の極端化。この10年で3回(3年)冬の寒波による被害が生じている。

・被害状況

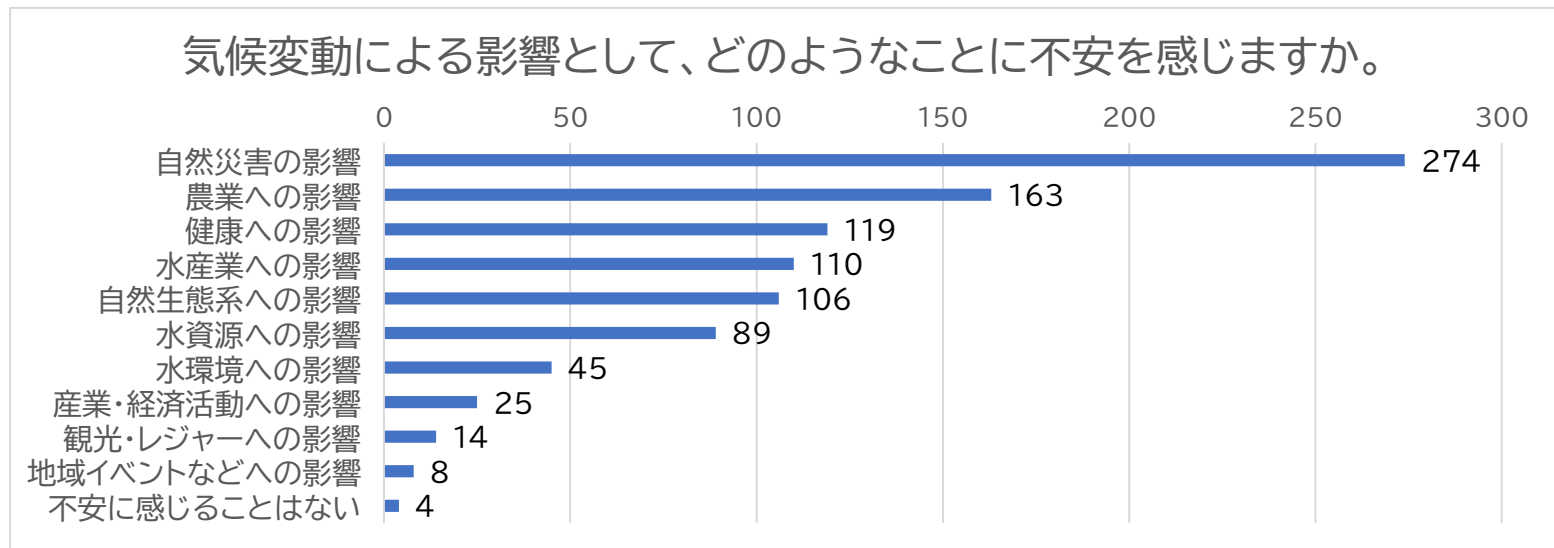
2023年も先日の寒波による被害で長崎市におけるビワの被害は76%に及んだ。

・実際に行っている対策について

ハウス栽培への誘導を行っている。しかし、資材価格が高騰しており、ハウス栽培への移行は経済的にとても難しい。

◆長崎県の場合、「県民センター」で県政モニター制度あり

◆県政モニター制度を活用して、アンケート調査を実施(回答率88%、298人回答/339人)



気候変動適応セミナーでの連携

気候変動適応セミナーの実施状況

年度	日時	テーマ	場所	参加人数	主な対象
R4	R4.8.28(日) 13:00-15:30	(防災) 激甚化・頻発化する災 害から私たちの暮らし を守るために	シーハット おおむら	165	一般県民
R5	R5.9.17(日) 13:00-15:00	(若者ができる取組の紹介) 未来へ繋ぐ適応の取組 について	web	52	若者(大学生な ど)
R6	R6.7.11(木) 13:00-14:20	(高齢者の熱中症予防) 暑さ対策セミナー	web	90	高齢者に関わる 方

外部講師をどうすればよいか？ R4とR6について紹介

- ◆気候変動の影響は、自然災害、農林水産、健康分野等の多岐にわたるため、関係機関や関係有識者と連携を強化し、協力体制を構築する必要